

活動報告書 2020 - 2021



苦しく辛い経験をした子どもは、誰よりもつよくやさしくなれる。
被災地の子どもたちの成長は、私たちの希望です。

公益社団法人ハタチ基金

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南 3-66-3 高円寺コモンズ 2F

TEL : 03-3330-0005 (平日 9 : 00 - 18 : 00)

www.hatachikikin.com



0歳



5歳



10歳



15歳



20歳

東日本大震災から10年。

震災当初に小学生だった子どもたちも中学生になり、高校生だった子どもたちは社会人となりました。

この10年の間で彼らが感じた様々な感情と葛藤は計り知れません。

ただ、私たちは彼らがたくさんの感情と向き合いながら毎日を過ごし、乗り越え、いつからか自分の目標や夢に向かって歩いていく姿を隣で見てきました。その成長こそが東北の復興につながっていると思っています。

そしてこれからもつなげていきたいと思っています。

「支えてもらう側から支える側へ」

この10年間で活動に参加した子どもたちが、今度は自分が支え手として被災地の子どもたちをサポートしてくれています。

「自分が変わったように、これから子どもたちにも変化のきっかけを作りたい」という想いが、東北の若者の中で広がって来ています。

今回はNPO法人キッズドアの活動に参加した当時中学生、現在は大学生の声をお届けします。

2011年3月、突如発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により、当時小学5年生だった私は、わけもわからず浪江町から避難しました。その後、小学6年生は千葉県で、中学・高校時代は埼玉県で過ごしました。

中学1年生の時、両親の知り合いからキッズドアの活動を紹介され、参加することにしました。そこではパソコン学習や英会話をしたり、英語でプレゼン発表などをしました。数か月に1回のイベントでしたが、友達やスタッフの方との勉強やおしゃべりがとても楽しみだった記憶があります。当時は英語に苦手意識がありましたが「難しいけど伝わると楽しい!」と思えるようになりました。

その後、山形県の大学に進学し、2年生の時から仙台市にあるキッズドア東北で学習支援ボランティアをしています。「中学生の時にサポートしてくれたスタッフのように、私も子ども達をサポートしたい!」と思ったからです。

現在は大学4年生となり、来年からは子どもと関わる仕事に就きます。当時の私自身が何に悩み何に喜んだかを思い出しながら、子ども達の学習をサポートしていきたいです。



代表理事よりご挨拶

震災の影響を受けた子どもたちがハタチになるまで支え続けたいと思い始めたハタチ基金の活動も、今年で10年目の折り返し地点を迎えることができました。震災後10年間で幼少期・思春期の子どもとして過ごすことは、誰も経験をしたことのない日々でした。それでも、震災当時に小学生だった子どもが高校生となり「将来は地元に戻ってきて働きたい」と未来を思い描きながら勉強に励む姿。震災当時に高校生だった子どもが社会人となり「自分が支援してもらった恩返しをしたい」とサポーターとなって声を上げてくれる姿。彼らは本当に頼もしく成長しています。

また、ハタチ基金はこれからの活動10年を見据え、2021年度からは4人の代表理事体制から、私、今村が代表理事を務めさせていただきます。地域事情に柔軟に対応し、持続可能な活動へとますますアップデートするため、意思決定のスピードをあげていきたいと考えております。東北の子どもたちの思い描く未来に寄り添い、「2031年、復興のその先へ」を皆様と共に実現していきたいと心より願っております。



©katomaki

2020 年度の支援実績

2020.4/1_2021.3/31



認定 NPO 法人カタリバ



6歳～

コラボ・スクール

東北 3 県で延べ 18,971 人に学び支援と居場所の提供

岩手、宮城、福島の東北 3 県で、震災の影響を受けた子どもたちが、安心して学ぶことができる居場所の提供をしています。2020 年度は新型コロナの影響で、創意工夫しながらの活動となりました。オンラインでの特別授業など、安心安全な環境を守りながら子どもたちの学びが最大化できるようにしました。

12歳～

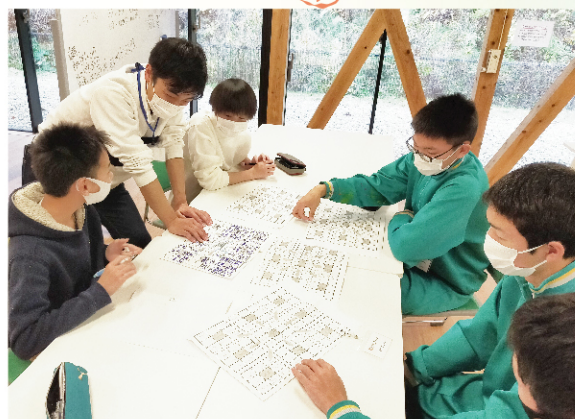
居場所機能を備えた学習支援と次世代育成事業

仙台市・南三陸町の中高生向け無料学習会を実施
(年間 440 回の実施で延べ 4,443 名が参加)

震災の影響を受けた世帯、経済的に困窮している世帯の中高生を対象に無料学習会を開催しました。また、休校期間中と夏休みの 2 回、経済困窮世帯向けに食材の詰め合わせセットを送付しました。オンラインイベントや少人数での季節行事等を行い、子どもたちが様々な人と交流する機会も設けました。



NPO 法人キッズドア



6歳～



公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン



©Natsuki Yasuda / Dialogue for People

スタディクーポン提供事業

399 名の子どもたちにクーポンを提供
大学生ボランティアは 1,606 回の面談を実施

被災した子ども 399 名に対して、地域の学習塾や習い事等で利用できるクーポンを提供しました。また大学生ボランティア 79 名が、定期的に子どもたちの進路・学習相談を行いました(面談回数 1,606 回)。紙クーポンを電子化し、クーポン未利用者へ迅速なフォローも行いました。(利用率 96.5%)

子どもたちに学び・自立の機会を提供するために、復興状況や現地のニーズに合わせて支援活動を実施する団体へ助成を行いました。ハタチ基金では、被災地の子どもを取り巻く課題解決にチャレンジングに取り組む団体の事業を支え、子どもの育成を通じて、今後10年の東北の復興に貢献いたします。



NPO 法人トイボックス



小学生

みなみそうまラーニングセンター

南相馬全域の児童クラブ17ヶ所の訪問支援

約620人の子ども達が利用する南相馬市全域の17ヶ所の児童クラブを巡回訪問支援しました。児童の宿題サポートを168回、巡回相談支援を27回行いました。相談支援では、延べ100件の相談を受けました。また支援者対象の研修会を3回実施し、支援員のスキル向上に寄与しました。

0歳～

おうち保育園

保育ソーシャルワーク（40ケース）、インクルーシブ保育（48人）、ほいくえん子ども食堂（335人）を実施

『保育ソーシャルワーク』、『インクルーシブ保育』、『ほいくえん子ども食堂』の機能を持つ保育園を仙台市で運営しています。『ほいくえん子ども食堂』では、食品物品をご家庭に配送する宅食や、食事を持ち帰れるようにお弁当テイクアウト型に変更するなど、対応して活動しました。



認定 NPO 法人フローレンス



現場の声

南相馬市全域の児童クラブ巡回相談にて

NPO 法人トイボックス

みなみそうまラーニングセンター

高橋 紀子 様



発災5年後を境に、子どもに関する相談が急激に増えました。「落ち着きがない」「カッとしやすい」など、その相談は今も続いています。発災から年月が経ち生活再建が進む一方で、新しい地域に家を建てるご家庭が増えていたり、仕事等の関係で、家族が別々に暮らすことも少なくありません。そうした生活環境の変化や喧騒が、子どもたちの心に影響を及ぼしています。

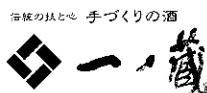
また、南相馬市は高齢者率が36%と、福島県で最も高齢化が進む地域です。仕事に子育てに介護にと、保護者にかかる負担が大きいこの地域だからこそ、保護者の悩みや課題を解決することは、子どもたちの健やかな生活に直結します。子どもたちが震災後の家庭の事情に左右されずに、かけがえのない子ども時代を伸び伸びと過ごせるように、これからも応援していただけると幸いです。最後に、こうした活動ができてるのは、ハタチ基金からのご支援があるからこそです。心より感謝申し上げます。

ご支援いただいた皆様

ハタチ基金では、2020 年度、企業・団体様からのご寄付を約 150 件いただきました。
継続的にご支援いただく企業・団体様も多く、ポスターやチラシの作成・配布など、
子どもたちを支える輪と一緒に広めるためのご協力もいただいております。



アズワン株式会社



株式会社一ノ蔵



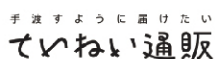
株式会社クオカード



KDDI 株式会社



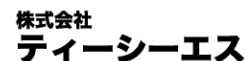
株式会社サンポール



株式会社生活総合サービス



ダイドードリンコ株式会社



株式会社ティーシーエス



一般社団法人 TU コモンズ夢のアトリエ



ネットヨタ多摩株式会社



株式会社ホッタ

朝日生命有志 / アロワナパートナーズ株式会社 / 一般社団法人いいとこファーム / 株式会社石上建設 / HMC 事務局 / 株式会社オオイシ
大阪ガス株式会社 / 尾張旭ランニングクラブ / 株式会社川の手不動産 / 共同カイトック株式会社 / 株式会社 CORE 技術研究所
株式会社サザビーリーグ / 株式会社サンベール / J-POWER グループユニオン / 中京商店真剣堂 / つながる箱
株式会社 DINOS CORPORATION / 東京福生ライオンズクラブ / トライオン株式会社 / 有限会社ドライブ
長谷幼稚園保護者会サマサマバザール実行委員会 / 日油株式会社 / 日蓮宗島根県教化センター / 一般社団法人日本サロネーゼ協会
ピーミーキッズ / Five Elements Yoga 関東認定者 / 1st PLACE 株式会社 / 福岡おかあさんコーラス連絡会 / ベーカーリー寛
北海道大学医学部 41 期会 / 松谷商事株式会社 / 株式会社三菱 UFJ 銀行 / 焼肉の家マルコポーロのお客様 / ヤフー株式会社
特定非営利活動法人洋服ポストネットワーク協議会 / 横浜市栄区仏教会 / 株式会社ライフコミュニケーション
Y シャツバンク & ホワイトボタンボランティア ※ 敬称略・五十音順
※ その他、たくさんの企業・団体様からご支援をいただきました。

支援者様からのメッセージ

アズワン株式会社 臼井 孝之 様 中嶋 恵理子 様

「0 歳だった赤ちゃんが、無事にハタチを迎えるその日まで」という、一時で終わらせず長期間風化させない支援活動を想起させるコンセプトに共感し、2014 年度から株主優待制度の枠組みを利用して応援させていただいております。当社株主様のご厚意を被災地の子供たちに届けられたら幸いです。



個人寄付者（呼びかけ人）の皆様より

震災の翌年に一人旅で宮城を訪れて以来、毎年宮城を中心に東北にお邪魔しています。人も街も歴史も自然も本当に魅力的な場所です。震災から 10 年、今年私も親になります。これも何かの縁だと思っています。大好きな東北の子どもたちと、それを支える皆様の志を微力ながら応援させていただきます！

会計報告

【各団体の支出】

使用期間：2020年4月1日～2021年3月31日

認定 NPO 法人カタリバ

コラボ・スクール

【総事業費】248,003千円

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	13,204
支払報酬費	3,867
地代家賃	1,800
その他（システム費、福利厚生費）	1,129
合計	20,000

（単位：千円）

NPO 法人キッズドア

居場所機能を備えた学習支援と次世代育成事業

【総事業費】22,000千円

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	5,160
施設運営費	2,160
旅費交通費	1,200
その他（備品購入費、通信運搬費）	800
合計	9,320

（単位：千円）

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

スタディクーポン提供事業

【総事業費】111,529千円

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	4,224
クーポン費用	13,000
システム保守費	1,426
その他（地代家賃、通信運搬費等）	1,351
合計	20,000

（単位：千円）

NPO 法人トイボックス

みなみそうまラーニングセンター

【総事業費】13,590千円

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	12,010
施設運営費	915
消耗品費	154
その他（研修費、福利厚生費）	511
合計	13,590

（単位：千円）

認定 NPO 法人フローレンス

おうち保育園

【総事業費】42,726千円

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	18,272
広告宣伝費	1,360
研修費	240
旅費交通費	200
合計	20,000

（単位：千円）

●各事業の総事業費および、その中でハタチ基金から配分した支出を掲載しています。
※千円未満の端数は四捨五入しているため内訳を足した金額と合計金額が異なることがあります。

【公益社団法人ハタチ基金 決算報告】

正味財産増減計算書 2020年4月1日～2021年3月31日

科 目			2020 年度実績	
一般正味財産増減の部	経常収益	受取寄付金	49,296,500	
		受取寄付金振替額	76,687,526	
		雑収益	242	
		経常収益計 125,984,268		
	経常費用	1. 事業費	人件費	1,714,939
			助成金	82,910,000
			事務局運営費	10,805,636
			その他事業費	18,734,949
		2. 管理費	人件費	571,647
			事務局運営費	3,601,879
			その他事業費	7,645,218
			経常費用計 125,984,268	
	当期一般正味財産増減額		0	
	一般正味財産期首残高		1,096,100	
一般正味財産期末残高		1,096,100		
指定正味財産増減の部	受取寄付金		119,272,152	
	一般正味財産への振替額		▲76,687,526	
	当期指定正味財産増減額		42,584,626	
	指定正味財産期首残高		76,460,370	
	指定正味財産期末残高		119,044,996	
正味財産期末残高			120,141,096	

（単位：円）

●残高は2021年度に行う事業および、基金の継続的な運営管理のために使用させていただきます。
●呼びかけ人の皆様からのご寄付については一般寄付とし、東北の子どもたちを支援する団体の活動および基金の運営管理など、ハタチ基金の活動全般を長期的に継続していくために使用させていただきます。●ご都合のよい時にいただく都度のご寄付については指定寄付金とし、東北の子どもたちを支援する団体の活動のために活用させていただきます。

2020年度 公益社団法人ハタチ基金助成事業について

助成件数：5件

助成金額：82,910,000円

ご寄付のご案内

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。
ハタチ基金では都度寄付・継続寄付でのご支援を承っております。
今後とも応援よろしくお願いいたします。

ご寄付は東北の子どもたちを支援する団体の活動および基金の運営管理など、活動全般を長期的に継続していくために活用させていただきます。



都度寄付はこちら



継続寄付はこちら